



2021日本のうたごえ祭典inひろしま

核兵器禁止条約発効

～ひかりにむかって～

NO. 9
2021年7月10日
発責：実行委員会

〒730-0853 広島市中区堺町1-2-9-101 広島のうたごえ協議会
Tel & Fax 082-295-5065 e-mail: hiroutakyo@yahoo.co.jp

#うたごえエールforひろしま祭典全国第2回オンラインうたごえ

ありがとう!

全国からの励ましや期待のエール

7月3日(土)、第2回全国オンラインうたごえが、日本のうたごえ祭典のプレ企画として、日本のうたごえ全国協議会と祭典実行委員会の共催で開催されました。今年3月には、「東日本大震災10年復興エールうたごえ」として取り組みましたが、今回は、全国からコロナ禍の中で日本のうたごえ祭典を開催しようと頑張っている広島にエールを送ろう、広島も祭典に向けての思いを発信しようといううたごえです。

全国14か所を 熱く結んで

前回は、4か所の出演でしたが、今回は、東京、京



都、北海道は札幌、函館、帯広、釧路、そして埼玉、宮城、愛知、長崎、大阪、福井、広島は広島市と三次。全国14か所を結んで行われました。各地が工夫を凝らしてエールを送り、うたごえをし、全国各地でそれに合わせて楽しく歌ったり踊ったりしました。

総合司会は、広島祭典運営委員長 寺本美和子さんと国鉄広島ナッパーズの斉藤知裕さん。会場の中広会館には、スタッフを含めて40人のギャラリイが集まりました。

まずは、祭典テーマソング「ひかりにむかって」を地元広島がリードしてスタート。続いて「生協ひろしま虹のコーラス」



の皆さんが、平和公園の原爆の子の像の前で26年間毎月続け、300回を超えているうたごえを再現。「青い空は」「ヒロシマのある国で」を思いのこもった手話も入れてリード。

次は、前回の祭典開催地京都から、「歌いたい歌がある(コロナバージョン)」「他を京都ひまわり合唱団のみなさんが、振り付けありの、熱いパフォーマンスで。

続く東京は、軽妙な司会進行で「自由なる大地へ」「選挙にいこう」「歩いていこう」等を、ダンスも入れて元気いっぱい楽しい雰囲気。

北海道は、今回はなんと道内

4カ所からエールを送ってくださいました。そして、東京の伴奏&リードで「知床旅情」を歌い交わしました。

ここからインターバルの時間。まず、日本のうたごえ祭典の事業委員会からのコマージュタイムで、今年の事業グッズが披露されました。続いて、三次の「地球屋」から、手を振って参加。そして、山上茂典さんのギターと歌のリードで「心つなごう」。

再び全国のうたごえへ。今回オンライン初参加の埼玉からは、エールに続いて、「身の丈音頭」の演奏。

そして、宮城からは、昨年急逝された小林康浩さんへの思いを込めて「小さな町から」「人間だから」。最後に「一人の手」を若いメンバーのリードで進められました。

この後は、オンラインうたごえ喫茶の先駆け愛知のうたごえ、直前に参加者がどっと増えた長崎、青年中心の大阪からのエールとリクエストでした。リクエストされた曲が、他の場所の伴奏とリードで歌われるというのも、オンラインならではの楽しみですね。

そして、今最も元気に活動されている福井へ。会場には、幟旗が何本も立ち、大勢が集い、

「心はいつも夜明けだ」「いちばん星」などの曲をリードして歌いました。

そしてリクエストタイムへ。全国からチャットやメールで寄せられるリクエスト曲の調整をしてくださるのは、愛媛の上田さんや東京の大熊さん。伴奏やリードの要請に答えて、全国各地が交代で「タンポポ」「祈り」「今この時代に」等を歌いました。そしてフィナーレは、広島のリードで「折り鶴」「約束のうた」「町」の歌で締めくくられました。

広島の伴奏は、キーボード江口亮子さん、アコーディオン高田龍治さん、ギター高橋仁さんでした。

技術力 全国各地で レベルアップ

今回も、京都の時田裕二さんを中心に、「ねがいプロジェクト」の皆さんが、全国の音響・映像を統括してくださいましたが、広島のスタッフは、山上茂典さんを中心に、機材をそろえ、操作を研究し、事前に大木剛さんのレクチャーを受け、当日は自力で頑張りました。全国各地でも、このような技術を担える体制が整ってきています。

第3回オンラインうたごえも



計画され、既に出演の名乗りをあげてくださっている所が何か所もあります。

この取り組みもすべて、12月の祭典に直接つながっていくものです。楽しみです。

祭典へのエネルギーに

実際に会うことが難しい中、遠く離れていましたが、全国のみなさんとオンラインで歌い交わすことができ、今まで以上に気持ちに繋がりが合うことができました。

全国のみなさんが、広島での祭典に期待し、応援してくださいていることをありがたく感じました。

いただいた励ましをエネルギーに変えて、あと5か月足らずの取り組みですが、頑張りぬいて祭典を成功させます。引き続き、よろしく願いいたします。

広島のうたごえ協議会運営委員会と 祭典運営委員会を合同開催

6月29日、広島のうたごえ協議会運営委員会と祭典運営委員会の合同会議を開きました。祭典についての全国の皆さんへの正式の広報（お知らせ）は、7月中旬を目標して準備しています。もうしばらくお待ちください。

コロナ対応検討会議を開催

全国協と広島祭典運営委員会とが連絡を取り合い、意思疎通をし、祭典のコロナ対策に伴う重要事項について迅速に検討する場として、「コロナ対応検討会議」を開催することにしました。全国協からは4役、広島からは委員長会が出席。6月11日と7月6日に開催しました。この会議は、今後も継続して主にオンラインで開きます。

各委員会からの報告

●企画委員会

・3つのコンサートの練習計画表・企画内容・広島の出演案を提案。8月23日（月）企画会議で、新判断基準により、方向をほぼ確定する予定。

・「リナッシュエロ リナッシュレイ」・「ひろしまへ」等の合同曲の練習は、これから取り組んでいく。曜日や場所をよく確認して、合唱練習に参加して欲

●事業委員会

祭典グッズは、ほぼ確定。昨年の、ドリッパコーヒー、クリアムせんべいは継続。新しく、ポ

しい。

・企画のメンバーを増やしたい。

●組織・宣伝委員会

宣伝依頼を受付中。宣伝先候補も募集中。

ストカード（熊倉勇さんの絵）、シンボルマークワッペン、ダブルチケットクリアファイル、Tシャツ、200gコーヒー、キーホルダー、缶バッジ、贈答用大ハム（夏季限定販売）を提案。

●財政担当

・全国は目標額を超過達成。この全国の動きに添えて、広島も超過達成をめざしていきたい。全国では、募金〇県をなくそうと呼びかけをしている。

・チケットの販売時期を検討中。コロナ感染状況によって、コントロールできる方法を考えている。

・チケット普及は、地元枠を設定して頑張り、現地の意気込みを示す。

・出演者証（券）を発行する。出演者は客席には座れない。リモートで鑑賞できる会場が必要。

・チケットの申し込み方法は、スマホ・パソコンを使用した方法へ誘導したい。

・チケットの配券の仕方は、当日の引き換え券という方法も検討する。

・特別賛同募金優待内容については、コンサートのリモート券、DVD、CD、祭典グッズなどを検討中。

以上各委員会からの報告がありました。